

平成27年度四手井綱英記念賞 選考理由

受賞対象論文

中濱直之・丑丸敦史・井鷲裕司, 2013. 兵庫県宝塚市西谷地区における準絶滅危惧種スズサイコ *Vincetoxicum pycnostelma* Kitag. の繁殖特性及び訪花昆虫相. 地域自然史と保全, 35 (2): 115–123.

選考理由

スズサイコは環境省のレッドリストとレッドデータブック近畿において準絶滅危惧種とされている多年生草本である。これまで、スズサイコの主な減少要因は、草地の開発や管理放棄による成育環境の変化とされてきた。一方、最近になって、送粉者の減少など生物間相互作用の劣化も種個体群の減少の重要な要因であることが指摘されてきており、結果率の低いスズサイコにおいても送粉者制限が減少要因になっている可能性も考えられる。

しかし、送粉者制限と個体群減少の関係に寄与する実証的な研究例は限られており、スズサイコの繁殖特性に関する詳細も明らかでないのが現状であった。

本論文は、デジタルカメラを用いた訪花昆虫相全体の解明と行動観察、及び交配実験による結果率を規定している要因の推定を行い、送粉者制限によるスズサイコ個体群の減少リスクを科学的データに基づいて評価したものである。その結果、本種の送粉が主に広域分布する昆虫によって行われていること、結果率に与える送粉者制限の影響がそれほど強くないことが明らかとなり、送粉者の減少が本種の主要なリスクとなる可能性は低いことが示された。

本研究で行われた科学的データに基づいたリスク要因の特定とリスク評価には説得力があり、本種の保全には、生育環境の確保を主眼とすべきであるとする本論文の提言は、今後の効率的な保全計画策定にも大きく貢献するものと考えられる。

以上のことから本誌35巻2号に掲載された論文「兵庫県宝塚市西谷地区における準絶滅危惧種スズサイコ *Vincetoxicum pycnostelma* Kitag. の繁殖特性及び訪花昆虫相」を高く評価し、平成27年度四手井綱英記念賞を授与することとした。

関西自然保護機構編集委員会
四手井綱英記念賞選考委員会